



取 付 説 明 書

TOYOTA

b B

F u n c a r g o

V i t z

i s t

BLITZ

(1) 安全上のご注意

■ はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

■ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
【二柱式リフトをお勧めします】
やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジットラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

■ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の加工・分解・改造は行わないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたりする事があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

■ 重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。
整備要領書がお手元にはない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
燃料タンクのカソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は必ず点火プラグを熱価の高いものに交換してください。
- ・ 本キット内部品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 弊社剥き出しタイプのエアクリーナー(SUS POWER AIR CLEANER / SUS POWER CORE TYPE LM / SONIC POWER AIR CLEANER)を取り付けの際は、EFIヒューズを一度取り外し15秒以上経過後、再度ヒューズを接続してください。
- ・ エンジン始動後、アイドリング状態で5～10分間放置してください。
- ・ 本キット内の、41.フューエルコントローラは、絶対に分解・改造はしないでください。分解・改造した場合、燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合はエンジン破損の原因となります。
- ・ 品番10147 / 10149 / 10153キット取り付けの際にフューエルサクションチューブ ASSY W / ポンプ(樹脂部分)を削り加工する作業がありますが、加工作業後はフューエルサクションチューブ ASSY W / ポンプを十分に洗浄し加工粉などを完全に取り除いてください。加工粉などがフューエルサクションチューブ ASSY W / ポンプ内に残っていると、エンジン始動不良、エンジン不調等の原因になる場合があります。

【作業の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。

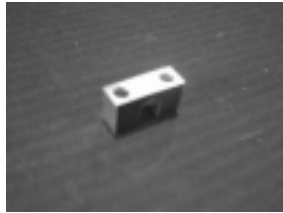
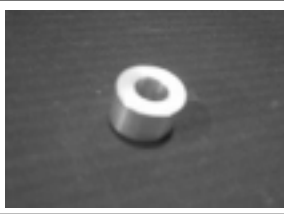
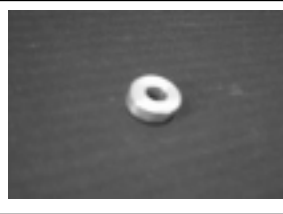
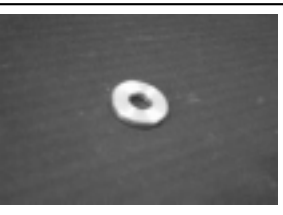
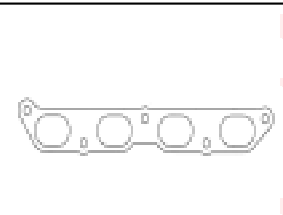
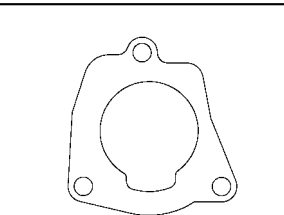
- 純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換してください。

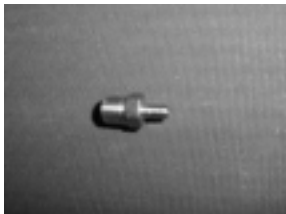
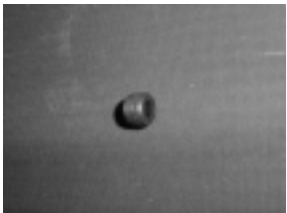
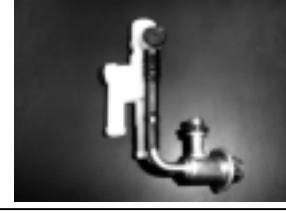
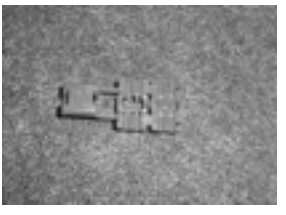
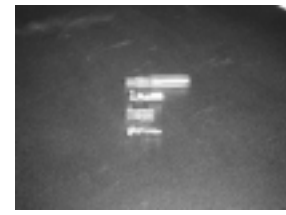
(2) 適合車種

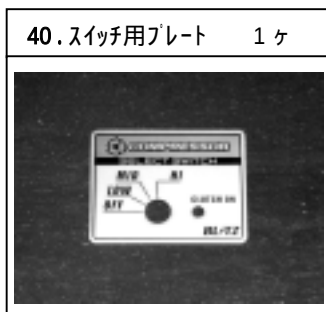
製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

- | | |
|--|--|
| ☐ 車 名: TOYOTA Vitz | ☐ 車 名: TOYOTA bB |
| ☐ 型 式: NCP13 AT車 2WD | ☐ 型 式: NCP31 AT車 2WD |
| ☐ E/G型式: 1NZ-FE | ☐ E/G型式: 1NZ-FE |
| ☐ 年 式: 2000年10月～2005年1月 | ☐ 年 式: 2002年8月～2005年11月 |
| ☐ 製品番号: 10147 | ☐ 製品番号: 10147 |
|
 | |
| ☐ 車 名: TOYOTA Vitz | ☐ 車 名: TOYOTA bB |
| ☐ 型 式: NCP10 AT車 2WD | ☐ 型 式: NCP35 AT車 4WD |
| ☐ E/G型式: 2NZ-FE | ☐ E/G型式: 1NZ-FE |
| ☐ 年 式: 1999年9月～2003年5月 | ☐ 年 式: 2002年8月～2005年11月 |
| ☐ 製品番号: 10149 | ☐ 製品番号: 10148 |
|
 | |
| ☐ 車 名: TOYOTA FunCargo | ☐ 車 名: TOYOTA bB |
| ☐ 型 式: NCP21 AT車 2WD | ☐ 型 式: NCP30 AT車 2WD |
| ☐ E/G型式: 1NZ-FE | ☐ E/G型式: 2NZ-FE |
| ☐ 年 式: 1999年8月～ | ☐ 年 式: 2000年1月～2003年5月 |
| ☐ 製品番号: 10147 | ☐ 製品番号: 10149 |
|
 | |
| ☐ 車 名: TOYOTA FunCargo | ☐ 車 名: TOYOTA ist |
| ☐ 型 式: NCP25 AT車 4WD | ☐ 型 式: NCP61 AT車 2WD |
| ☐ E/G型式: 1NZ-FE | ☐ E/G型式: 1NZ-FE |
| ☐ 年 式: 1999年8月～ | ☐ 年 式: 2002年5月～2005年4月 |
| ☐ 製品番号: 10148 | ☐ 製品番号: 10153 |
|
 | |
| ☐ 車 名: TOYOTA FunCargo | ☐ 車 名: TOYOTA ist |
| ☐ 型 式: NCP20 AT車 2WD | ☐ 型 式: NCP65 AT車 4WD |
| ☐ E/G型式: 2NZ-FE | ☐ E/G型式: 1NZ-FE |
| ☐ 年 式: 1999年8月～2003年5月 | ☐ 年 式: 2002年5月～2005年4月 |
| ☐ 製品番号: 10149 | ☐ 製品番号: 10154 |
|
 | |
| ☐ 車 名: TOYOTA PROBOX | ☐ 車 名: TOYOTA SUCCEED |
| ☐ 型 式: NCP51V/58G AT車 2WD | ☐ 型 式: NCP51V/58G AT車 2WD |
| ☐ E/G型式: 1NZ-FE | ☐ E/G型式: 1NZ-FE |
| ☐ 年 式: 2002年7月～ | ☐ 年 式: 2002年7月～ |
| ☐ 製品番号: 10147 | ☐ 製品番号: 10147 |

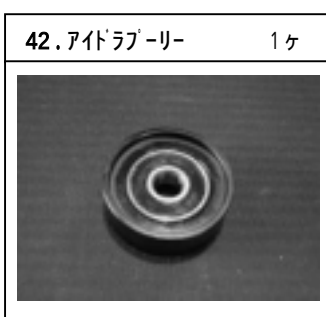
(3) パーツリスト

1. コンプレッサー本体 1ヶ 	2. チャンバー 1ヶ 	3. インテークマニホールド 1ヶ 	4. インレットパイプ 1ヶ 
5. コンプレッサーガスケット 2ヶ 	6. オルタネーターブラケット 1ヶ 	7. テンショナーブラケットA 1ヶ 	8. テンショナーブラケットB 1ヶ 
9. コンプレッサーステー 1ヶ 	10. インレットパイプステー 1ヶ 	11. レベルゲージステー 1ヶ 	12. テンショナーボルト 1ヶ 
13. アジャスターボルト 1ヶ 	14. リブ付きプーリー 1ヶ 	15. リブ付きプーリー用カラー 1ヶ  $\phi 22 - \phi 12 \quad h=16.5 \text{ mm}$	16. ブラケットカラーA 1ヶ  $\phi 18 - \phi 8 \quad h=7 \text{ mm}$
17. ブラケットカラーB 2ヶ  $\phi 22 - \phi 10 \quad h=4 \text{ mm}$	18. インマニガスケット 1ヶ 	19. スロットルボディガスケット 1ヶ 	20. Vベルト 2ヶ 

21. ニップル大 2ヶ 	22. ニップル小 1ヶ 	23. 電磁クラッチ用スイッチ 1ヶ 	24. リレーハーネス 1ヶ 
25. 沈みプラグ 1ヶ 	26A. レギュレーター-A 1ヶ  2WD用キットのみ	26B. レギュレーター-B 1ヶ  4WD用キットのみ	27. シリコンホース 1ヶ 
28. ホースバンド 2ヶ 	29. クランプ 2ヶ 	30. タイラップ[®] L 10ヶ 	31. タイラップ[®] S 10ヶ 
32. コンプレッサプレート 1ヶ 	33. ヒューズ 1ヶ 	34. φ7コルゲートチューブ 1ヶ 	35. 無鉛プレミアムステッカー 2ヶ 
36. 取扱説明書 1ヶ 	37. エレクトロタップ 11ヶ 	38. キボシ・スリーブセット 1セット 	39. スイッチコントローラ 1ヶ 

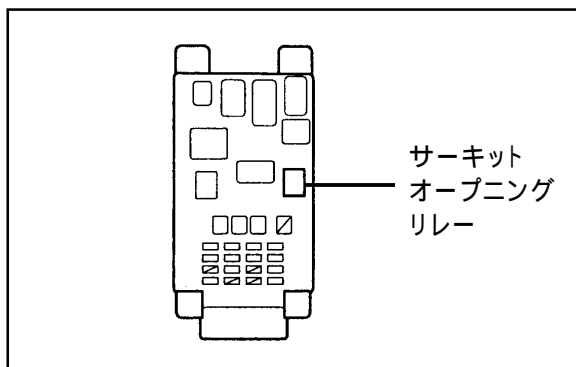


10153 / 10154キットには42. アイドラブ
ーリー、43. アイドラブーリー用カラーは付
属していません。
10149 / 10153 / 10154キットには
20.V ベルトは1本のみの付属となります。



フランジボルト M6 × 16 7 ケ	フランジボルト M6 × 35 2 ケ	フランジボルト M8 × 20 1 ケ	フランジボルト M8 × 30 2 ケ
フランジボルト M8 × 35 1 ケ	フランジボルト M10 × 25 1 ケ	フランジボルト M10 × 35 1 ケ	六角ボルト M10 × 55 3 ケ
キャップボルト M6 × 25 2 ケ	キャップボルト M8 × 20 2 ケ	キャップボルト M8 × 30 2 ケ	フランジナット M6 6 ケ
フランジナット M8 2 ケ	フランジナット M10 2 ケ	ワッシャー M10 3 ケ	スタッドボルト M6 5 ケ
スタッドボルト M8 3 ケ	フランジボルト M8 × 45 1 ケ		

(4) 燃料流出防止作業



- (1) インパネJ / B内のサーキットオープニングリレーを取り外す。
- (2) エンジンを始動し、自然に停止した後イグニッションスイッチをOFFにする。
- (3) バッテリーのマイナス端子を取り外す。
- (4) サーマットオープニングリレーを取り付ける。
- (5) フューエルタンクキャップをはずしフューエルタンク内の圧力を抜く。
サーキットオープニングリレーは運転席ハンドルの右下にあります。

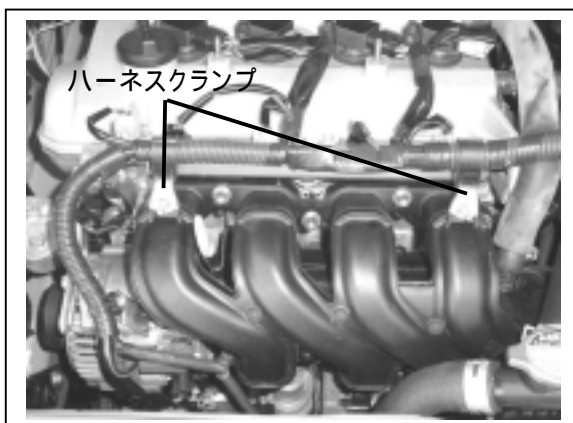
(5) 純正部品取り外し作業



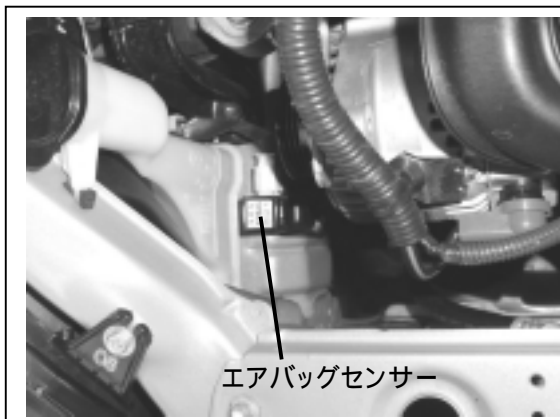
- (1) エンジンカバーを取り外す。



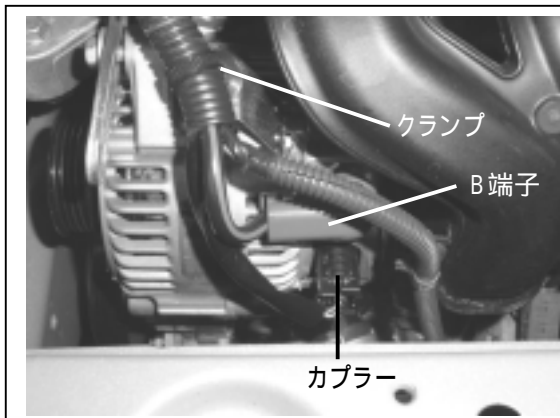
- (2) エアクリーナーホースを取り外す。



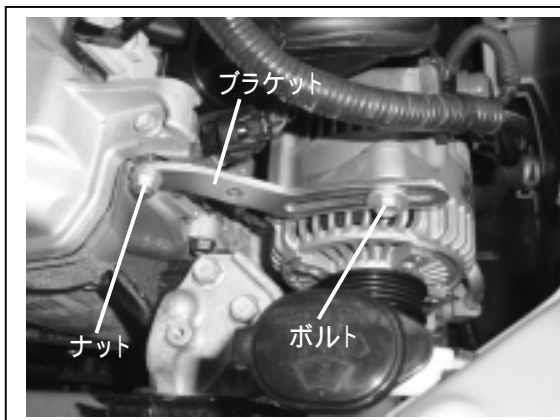
- (3) ボルト(2ヶ)とハーネスを留めているクランプを外して、ハーネスクランプを取り外す。



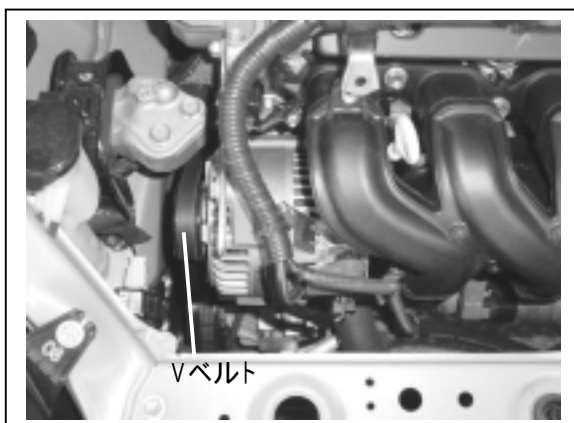
- (4) エアバッグセンサーを取り外す



- (5) オルタネーターのカプラーおよびハーネスクランプ、B端子を取り外す。

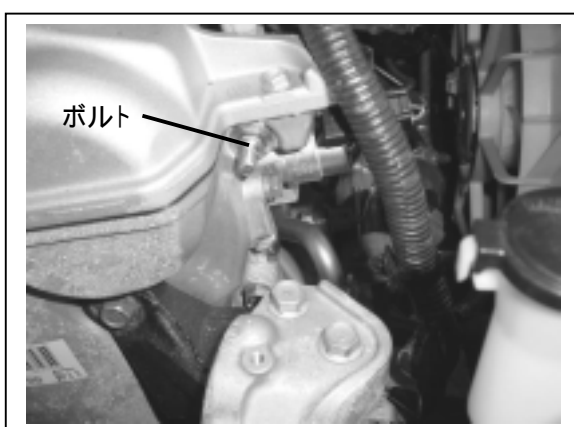


- (6) ボルト(1ヶ)、ナット(1ヶ)を外し、オルタネーターのブラケットを取り外す。



(7) Vベルトを取り外す。

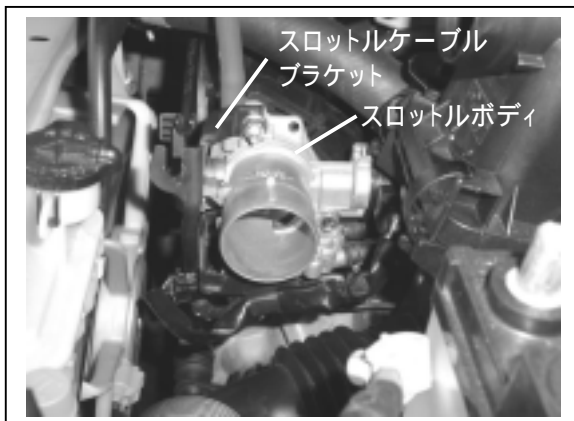
(8) オルタネーター下側を取り付けているボルト(1ヶ)を外し、オルタネーターを取り外す。



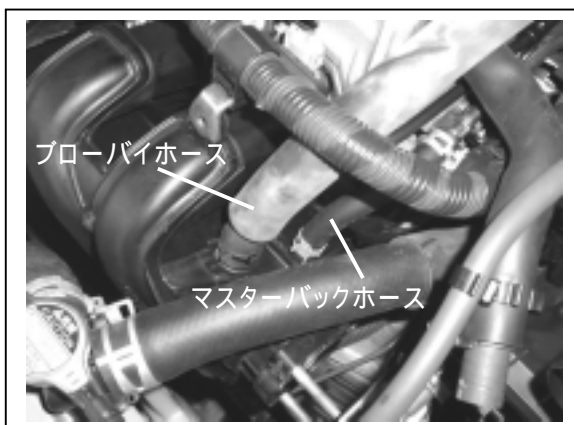
(9) 図のボルトを、取り外す。



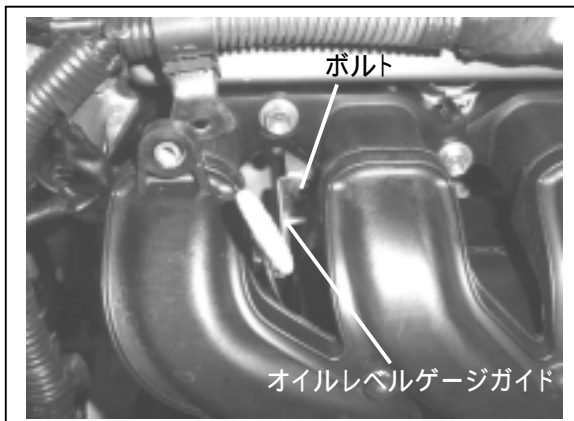
(10) スロットルケーブルを取り外す。



(11) ボルト(1ヶ)、ナット(2ヶ)を外し、スロットルボディおよびガスケット、スロットルケーブルブラケットを取り外す。
ベンチレーションホース、ウォーターバイパスホース、カブラーは、外さなくても、作業できます。



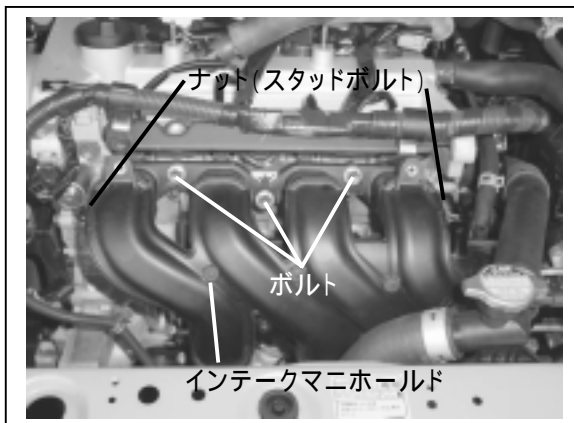
(12) ブローバイホース、マスターバックホースを取り外す。



(13) オイルレベルゲージガイドのボルトを外し、オイルレベルゲージガイドをフリーにする。



(14) インテークマニホールドから、ハーネスクランプを取り外す。



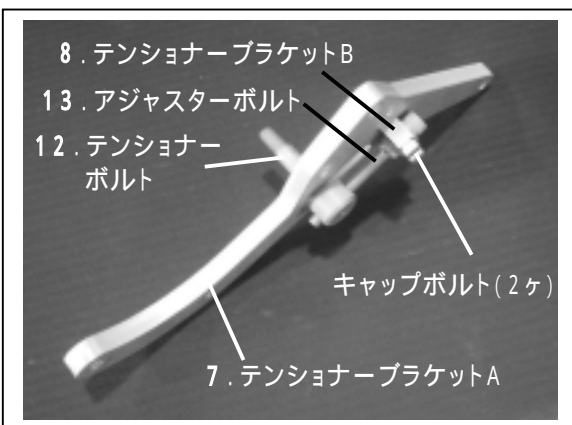
(15) ボルト(3ヶ)、ナット(2ヶ)を外し、インテークマニホールドおよびガasketを取り外す。

(16) ヘッド面の、スタッドボルト(2ヶ)を取り外す。

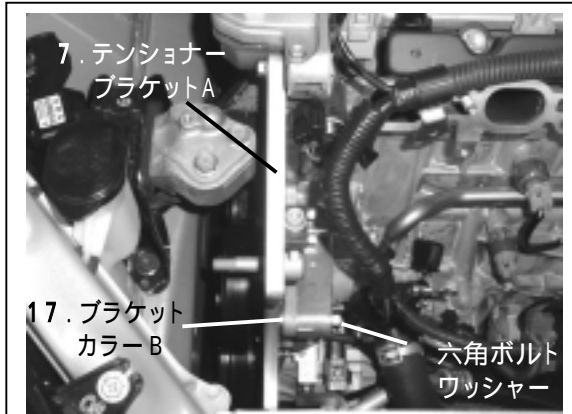
インテークマニホールドが取り外しにくい時は、先にスタッドボルトを取り外して下さい。

〔6〕コンプレッサーキット取り付け作業

注意 締め付けトルク	M 6	10.0 N・m
	M 8	18.5 N・m
	M 10	35.0 N・m



- (1) キャップボルト(2ヶ)を使用して、7. テンショナーブラケットAに、12. テンショナーボルト、13. アジャスターボルト、8. テンショナーブラケットBを取り付ける。

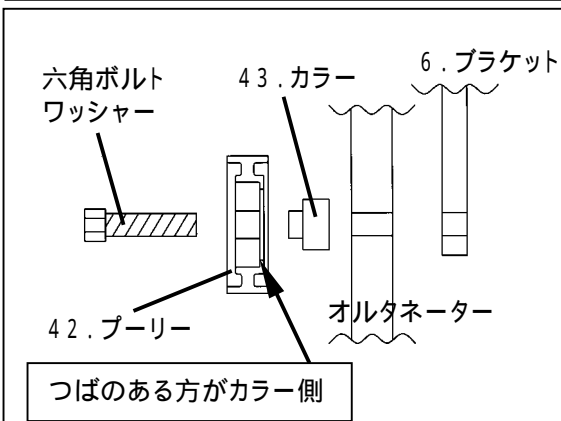
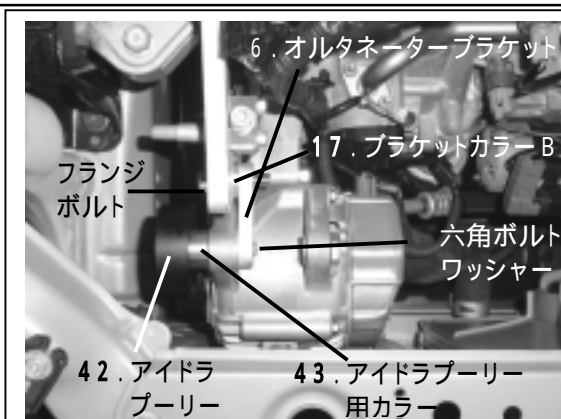


- (2) 16. ブラケットカラーA、17. ブラケットカラーB(1ヶ)、フランジボルト(1ヶ)、六角ボルト(1ヶ)、ワッシャー(1ヶ)を使用して、7. テンショナーブラケットAを仮付けする。

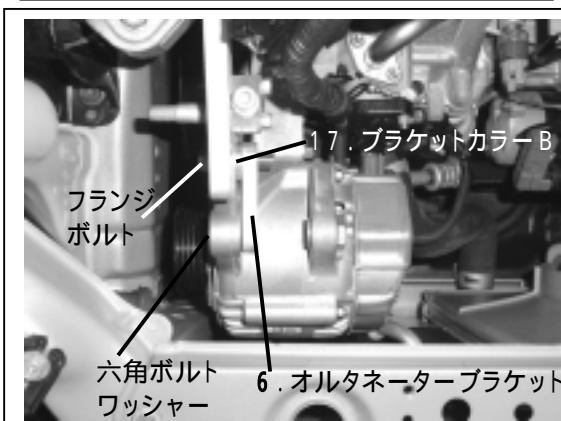




10147 (NCP13, NCP21, NCP31)、10148、10149



10147 (NCP51V/NCP58G)、10153、10154



(3) 純正オルタネーターのステアを取り外す。

(4) 17. ブラケットカラー B (1ヶ)、フランジボルト (1ヶ) を使用して、6. オルタネーターブラケットを仮付けする。

(5) フランジボルト (1ヶ)、フランジナット (1ヶ) を使用して、オルタネーター下側を仮付けする。
純正取り付け時と、上下を逆転させます。
フランジボルトで締め付けた後に、フランジナットで固定します。

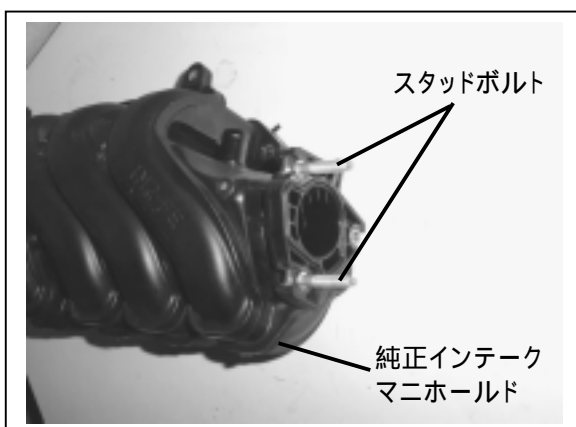
(6) オルタネーター上部取り付け
・ (10147 (NCP13、NCP21、NCP31)、10148、10149 キットの場合)
43. アイドラプーリー用カラー、六角ボルト (1ヶ)、ワッシャー (1ヶ) を使用して、42. アイドラプーリー (1ヶ) を取り付け、オルタネーターを留めている上下のボルト・ナットを本締めする。
42. プーリーは、つばのある方を 43. カラー側にして下さい。

・ (10147 (NCP51V / 58G)、10153、10154 キットの場合)
六角ボルト (1ヶ)、ワッシャー (1ヶ) を使用して、オルタネーター上側を取り付け、オルタネーターを留めている上下のボルト・ナットを本締めする。

オルタネーターが、エアコンパイプと当たる場合は、エアコンパイプの折れ・潰れ等に注意して、曲げ加工し逃がして下さい。

NCP51V / 58G に取り付けの場合は特に大きくエアコンパイプと干渉します。車両下側より、パイプの折れ・漏れ等に十分注意してオルタネーターに干渉しないように曲げ加工を行ってください。

(7) オルタネーターのカプラーおよび B 端子を取り付ける。

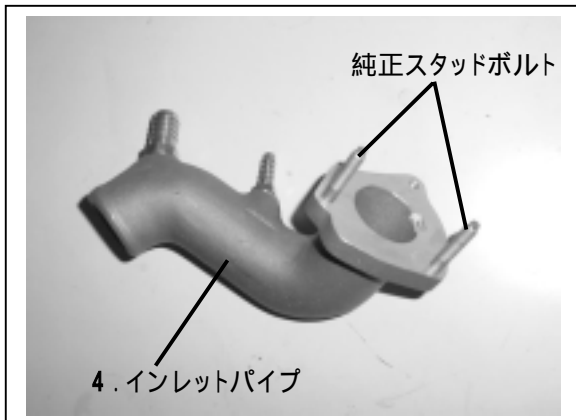


(8) エアバッグセンサーを元通り取り付け
る。

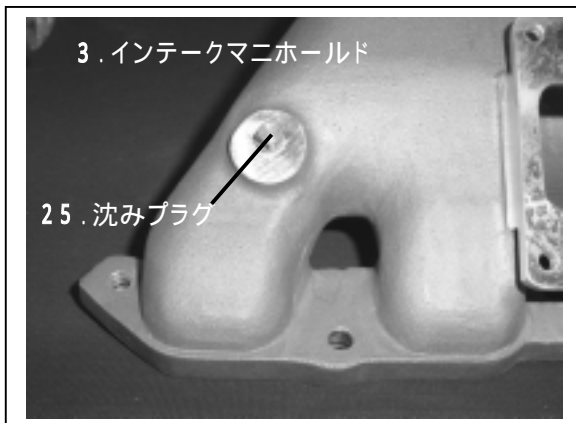
(9) 純正インテークマニホールドから、スタッ
ドボルト(2ヶ)を取り外す。



(10) 4. インレットパイプに、21. ニップル
大(2ヶ)を取り付ける。
シールテープもしくはシール剤を使用し
てください。



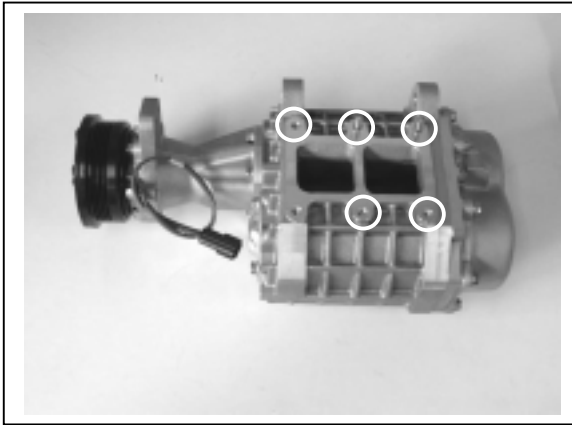
(11) 取り外した純正スタッドボルト(2ヶ)
を、4. インレットパイプに取り付ける。



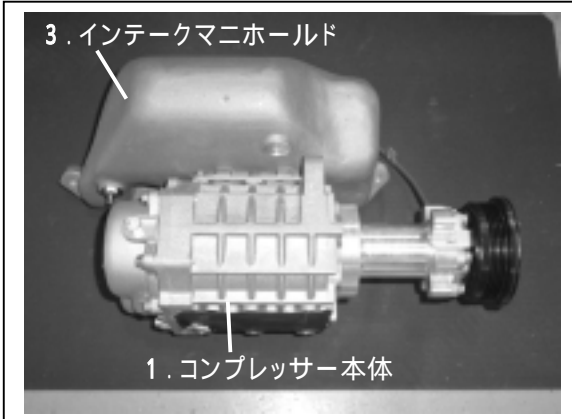
(12) 3. インテークマニホールドに25. 沈
みプラグを取り付ける。

シールテープもしくはシール剤を使
用してください。

ブースト計を取り付ける際は、22.
ニップル小をご使用ください。

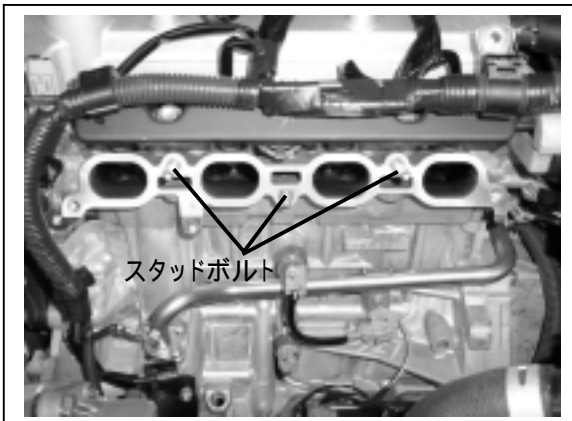
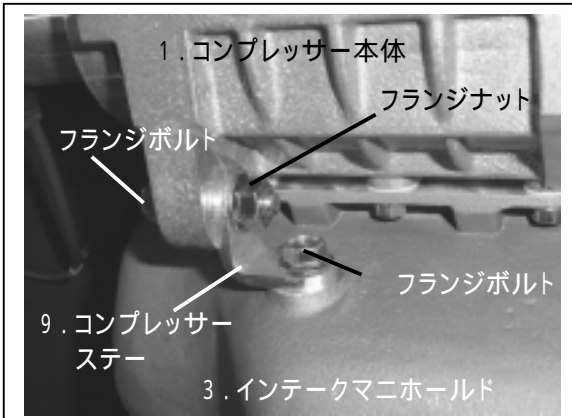


(13) 1.コンプレッサー本体の図の丸で囲んだ穴位置に、スタッドボルト(5ヶ)を取り付ける。



(14) 5.コンプレッサーガスケット(1ヶ)、9.コンプレッサーステー、フランジボルト(1ヶ)、フランジボルト(1ヶ)、フランジナット(5ヶ)、フランジナット(1ヶ)を使用して、1.コンプレッサー本体に、3.インテークマニホールドを取り付ける。

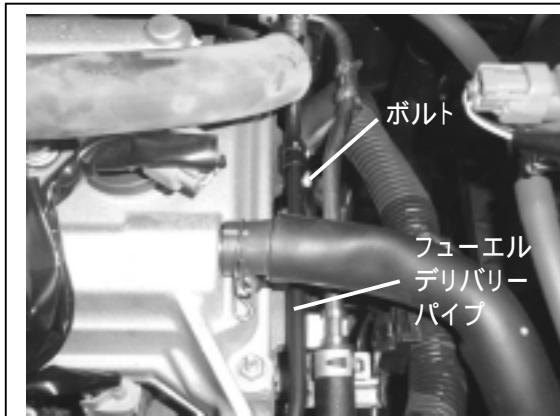
スタッドボルトのところに、フランジナットを使用します。残り1つのボルト穴に、フランジボルト(1ヶ)を使用します。



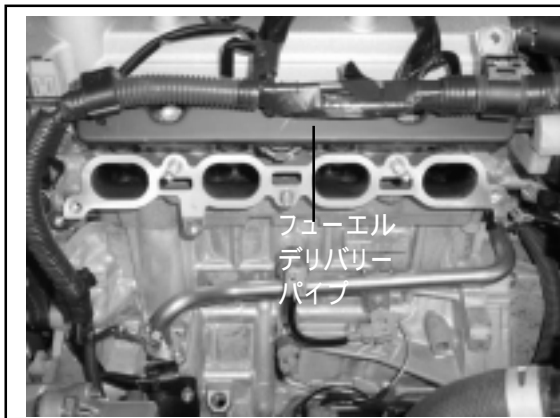
(15) エンジンのインテークマニホールド取り付け面に、スタッドボルト(3ヶ)を取り付ける。



(16) 図位置の純正ミッションドッキングボルトを取り外す。



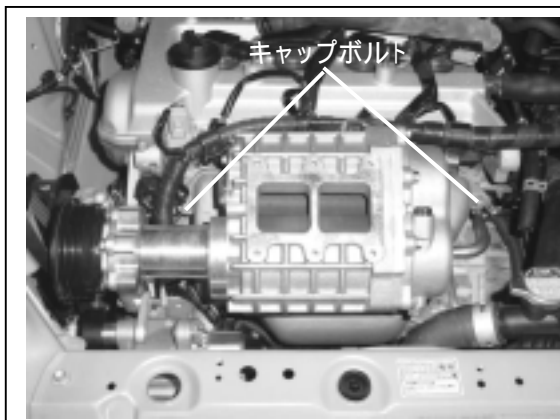
(17) フューエルデリバリーパイプステーのボルト(1ヶ)を外す。



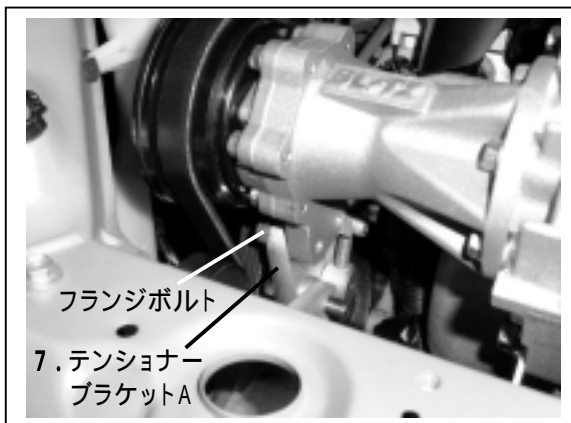
(18) 純正デリバリーパイプを止めているM8ボルト(2ヶ)を取り外し、デリバリーパイプをずらす。

インジェクターがデリバリーパイプから抜けないよう注意してください。インジェクターがデリバリーパイプから抜け、インジェクターのOリング部に燃料が付着すると、燃料漏れを起こしてしまう場合があります。

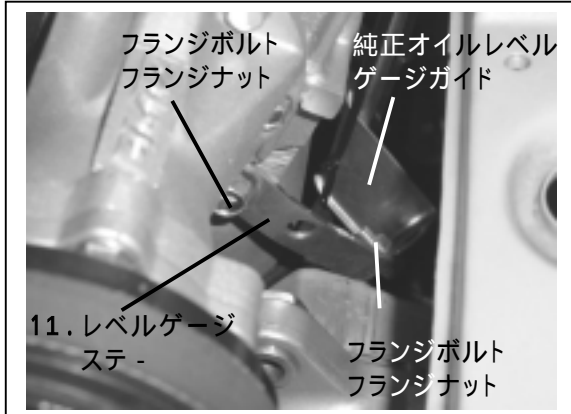
燃料が流出する場合がありますので注意してください。



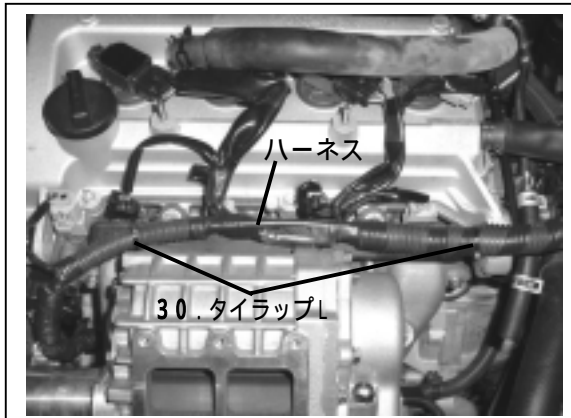
(19) 18. インマニガasket、純正インテークマニホールドナット(2ヶ)、キャップボルト(2ヶ)、フランジナット(1ヶ)を使用して、(14)で組み付けた1コンプレッサー本体と3. インテークマニホールドを取り付ける。



- (20) フランジボルト(2ヶ)を使用して、7. テンショナーブラケットAの上部の2ヶ穴と、1. コンプレッサー本体のノーズのボス部を取り付ける。
仮付けしていた6. オルタネーターブラケットと7. テンショナーブラケットAを本締めして下さい。

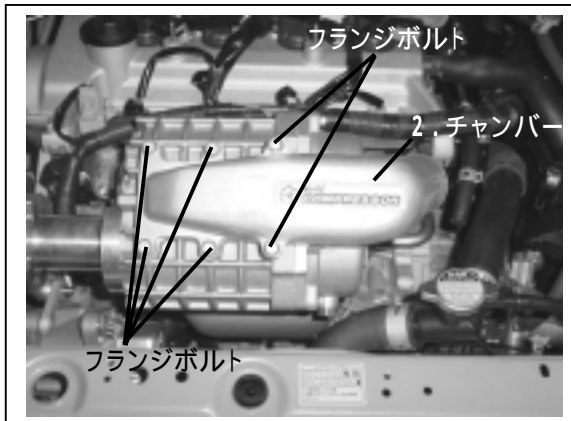


- (21) 9. コンプレッサーステ - を留めているフランジボルト フランジナットを緩め、 フランジボルト(1ヶ)、 フランジナット(1ヶ)を使用して11. レベルゲージステ - を取り付けて、純正オイルレベルゲージガイドを取り付ける。



- (22) (17)(18)で取り外したフューエルデリバリーパイプを、元通り取り付け。

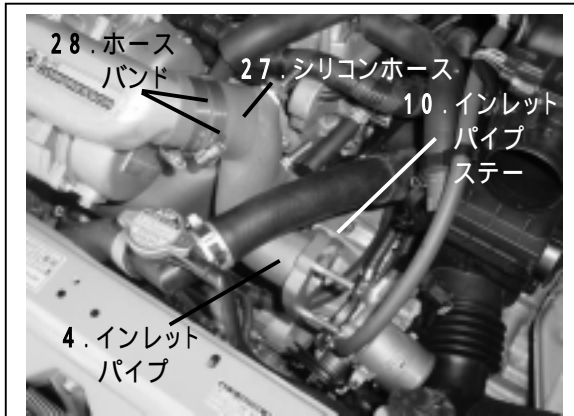
- (23) 30. タイラップLを使用して、ハーネスをフューエルデリバリーパイプに固定する。



- (24) 5. コンプレッサーガスケット、 フランジボルト(4ヶ)、 フランジボルト(2ヶ)を使用して、2. チャンバーを取り付ける。



(25) ミッションドッキングボルトが取り付けいていたボルト穴に、六角ボルト(1ヶ)、ワッシャー(1ヶ)を使用して、10. インレットパイプステーを仮付けする。

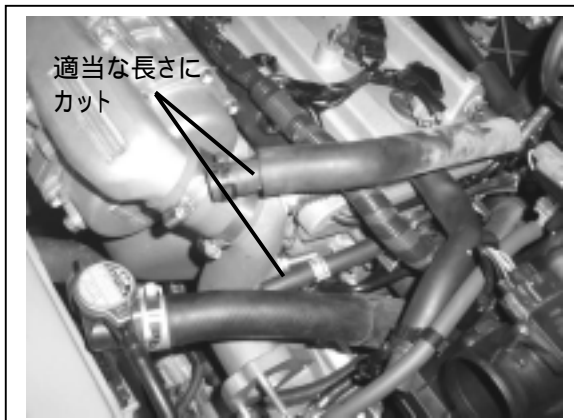


(26) 27. シリコンホース、28. ホースバンド(2ヶ)を使用して、4. インレットパイプを仮付けする。

(27) キャップボルト(2ヶ)を使用して、10. インレットパイプステーに4. インレットパイプを取り付ける。

(28) (25)で仮付けだった10. インレットパイプステーを本締めする。

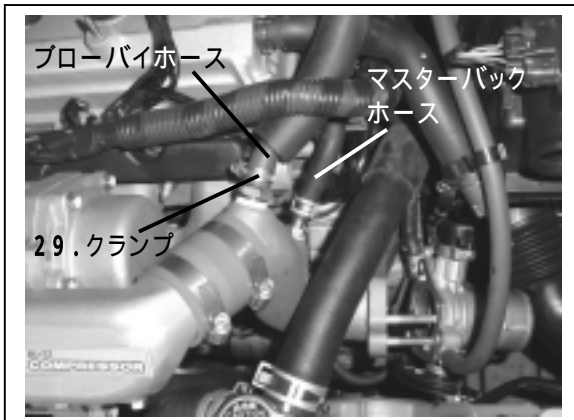
(29) (26)で仮付けだった28. ホースバンドを本締めする。



(30) 29. クランプ(2ヶ)を使用して、ブローバイホースおよびマスターバックホースを取り付ける。

ブローバイホースとマスターバックホースは、若干長めになりますので、適切な長さにカットして下さい。

ブローバイホースは、φ19 - φ9の異型ホースとなっています。ニップルまでの距離と調節しながら、φ9になるところまで切して下さい。

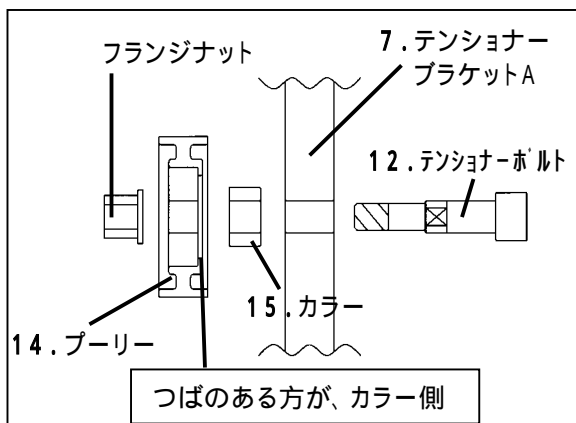




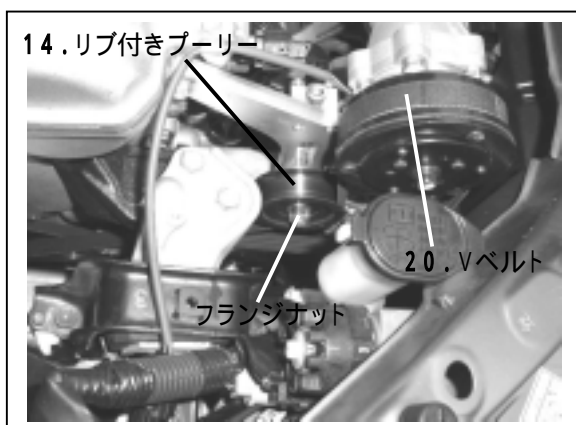
- (31) 19. スロットルボディガasketを挟んで、スロットルボディおよびスロットルケーブルブラケットを取り付ける。
純正ボルト、ナットを使用してください。



- (32) 純正エアクリーナーホースを取り付ける。
純正のホースバンドで取り付けてください。



- (33) 14. リブ付きプーリー用カラー、フランジナット(1ヶ)を使用して、14. リブ付きプーリー(1ヶ)を仮付けする。
14. プーリーは、つばのある方が、15. カラー側です。



(34) 20. Vベルトを取り付ける。

注意 品番10147 / 10148キットには
Vベルトが2本付属されています。

4PK1715

4PK1695

型式がNCP13、NCP21、NCP25、
NCP31、NCP35の車両は純正Vベルト
のサイズを確認してください。

純正のVベルトが4PK1180の場合は
4PK1715を使用してください。

純正のVベルトが4PK1170の場合は
4PK1695を使用してください。

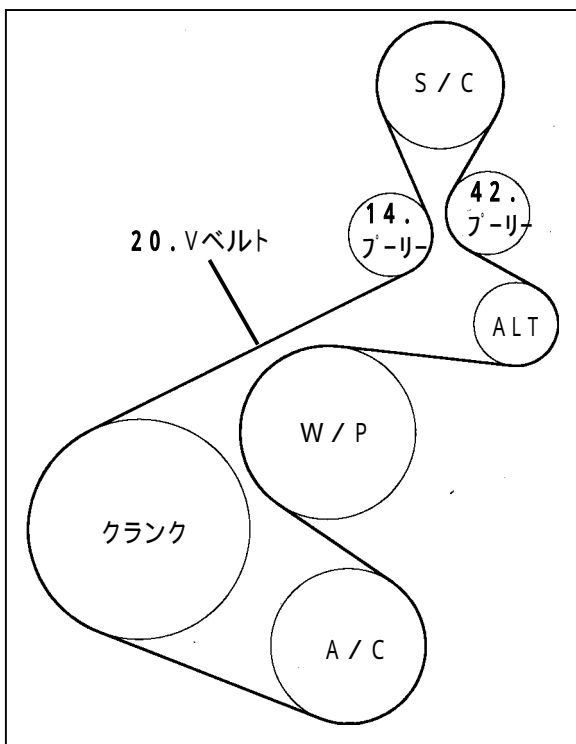
型式がNCP51V / 58Gの車両には
4PK1695を使用してください。

上記ベルトサイズはVベルトの背面に
印刷されています。

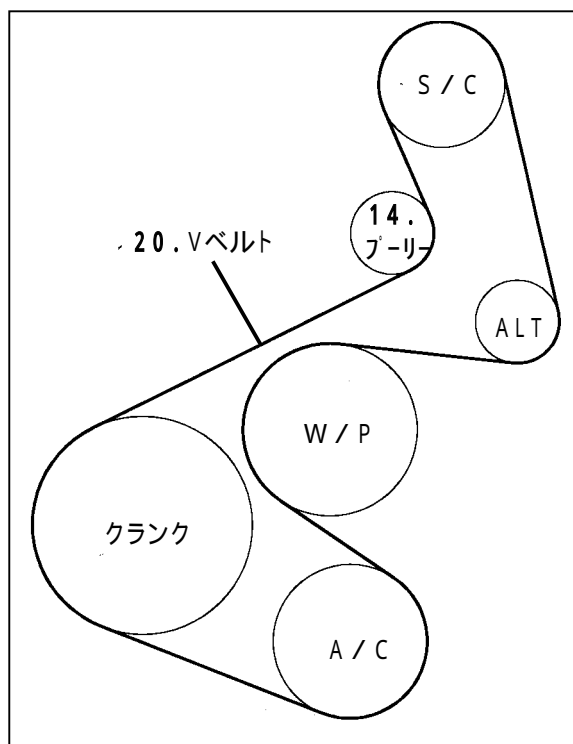
ウォーターポンプの背面プーリー部を
最後にかけて下さい。

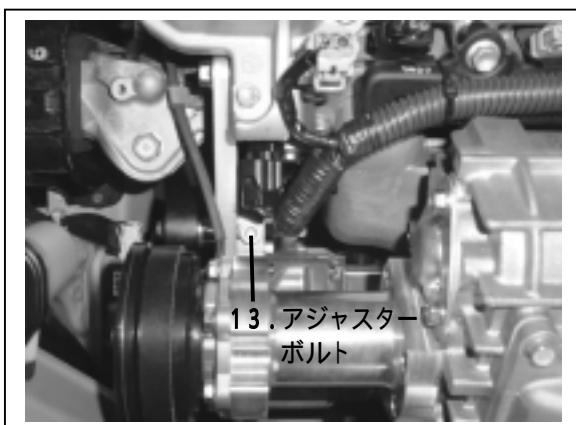
20. Vベルトがかかりにくい場合は、
14. リブ付きプーリーおよび42. ア
イドラプーリー(10147, 10148, 10
149キット)のセンターボルト・ナットを
緩めて、クランクプーリーを少し回転
させながらベルトをかけて下さい。

10147(NCP13、NCP21、NCP31)
10148、10149キット



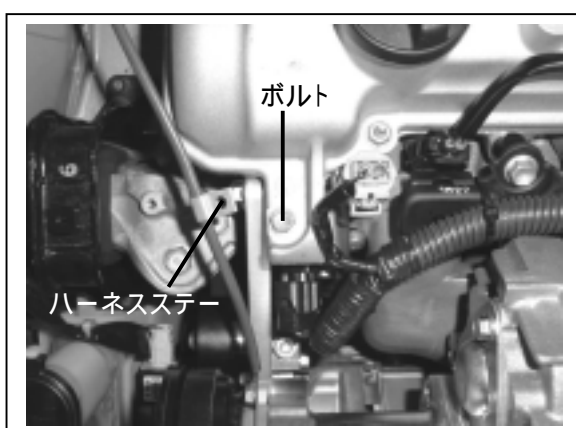
10147(NCP51V/58G)
10153、10154キット





(35) 13. アジャスターボルトを調節して、20. Vベルトにテンションをかけ、14. リブ付きプーリーを本締めする。

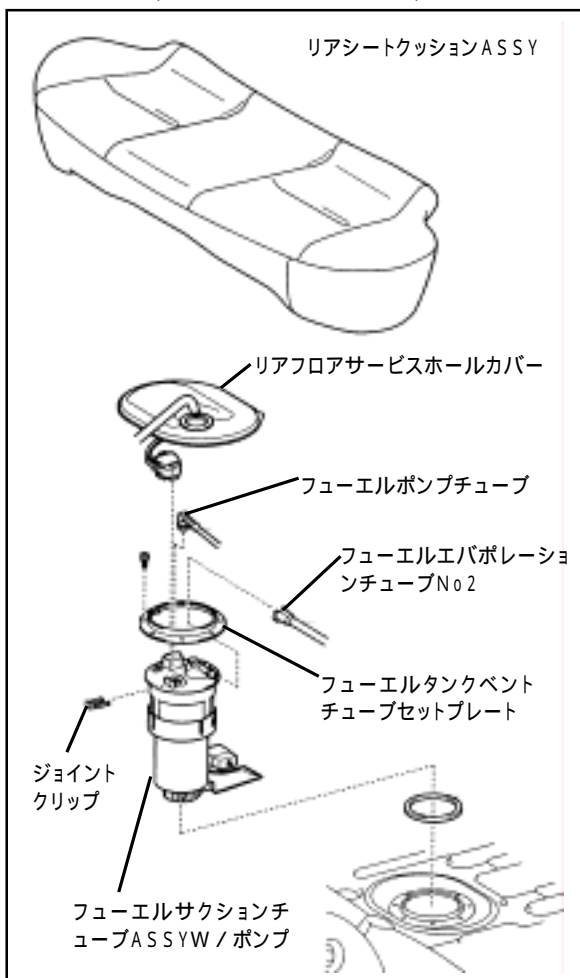
Vベルトたわみ量(mm)		
	新品取り付け時	点検時
たわみ量	7 ~ 8.5	11 ~ 13



(36) 1. コンプレッサー本体のハーネスステーを、図のボルトに共締めして固定する。

(37) 26. レギュレーター交換

・(2WD 車)(図は、NCP61です。)



分割可倒式 ヘッドレストを取り外し、後部座席を前方に倒す。

一体可倒式 リアシートクッションASSYを取り外す。

リアフロアサービスホールカバーを取り外す。

フューエルポンプコネクタを外す。

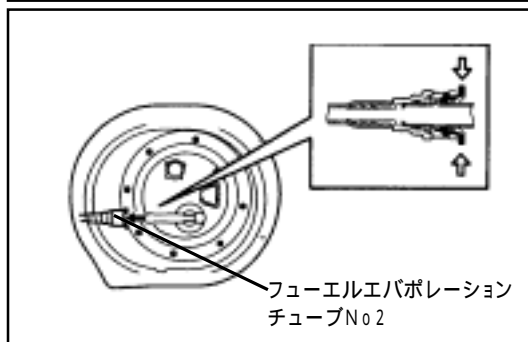
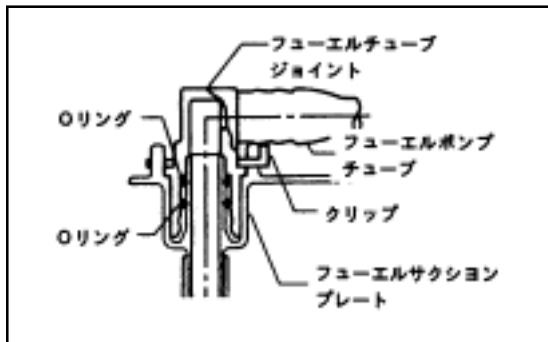
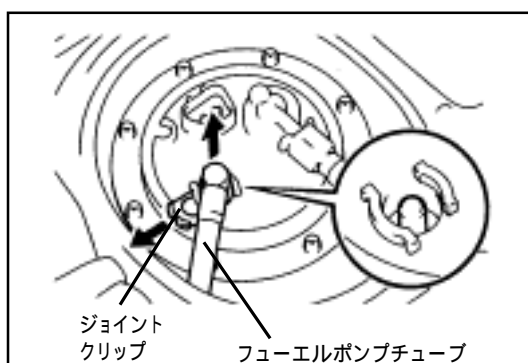
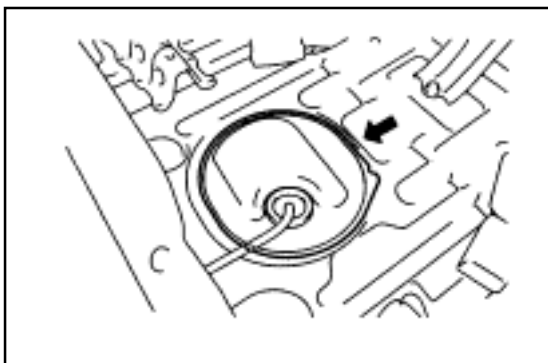
フューエルポンプチューブ取り外し

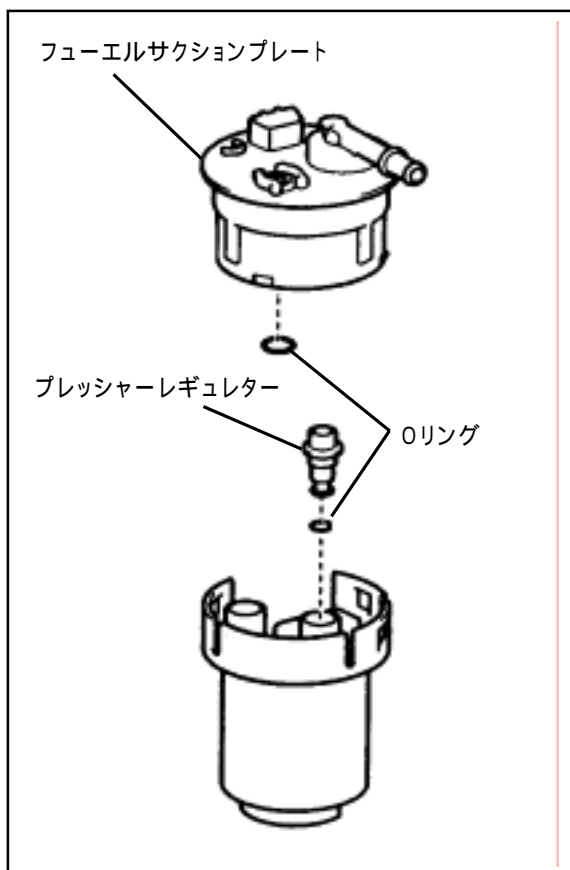
(a) 作業前にクリップ部に付着した泥などの異物を清掃する。

(b) ジョイントクリップをはずし、フューエルポンプチューブを上方に引き上げる。

注意・ クイックコネクタは O リングによりナイロンチューブサクシヨンプレートのプラグ部をシールしているため、接続部の傷つき異物の付着に対し、十分注意して作業をおこなう。

- ・ 脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。
- ・ ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。
- ・ プラグ部に異物などを付着させない。
- ・ 切り離した後、接続部をビニール袋で保護する。



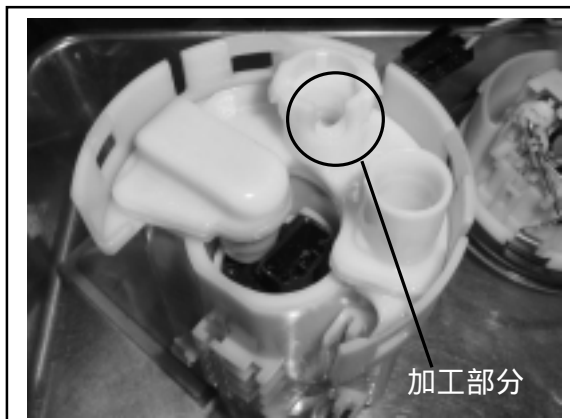


フューエルエバポレーションチューブ No2
取り外し

- (a) 作業前にクリップ部に付着した泥などの異物を清掃する。
- (b) フューエルチューブコネクタクリップ先端を指でつまんでコネクタを引き抜いて外す。

注意・フューエルチューブジョイントは O リングによりフューエルポンプチューブとフューエルサクシオンプレートをシールしているため、接続部の傷つき異物の付着に対し、十分注意して作業をおこなう。

- ・脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。
- ・ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。
- ・プラグ部に異物などを付着させない。
- ・切り離した後、接続部をビニール袋で保護する。
- ・コネクタが固着している場合は、押したり引いたりして固着を解除する。



ボルト (8ヶ) を外し、フューエルタンクベントチューブセットプレートを取り外す。

フューエルサクシオンチューブ ASSY W / ポンプを取り外す。

マイナスドライバーを使用して、ロックを外し、フューエルサクシオンプレートを取り外す。

フューエルプレッシャーレギュレーターを取り外す。

図で指示している部分を、棒ヤスリなどを使用して図のように加工する。

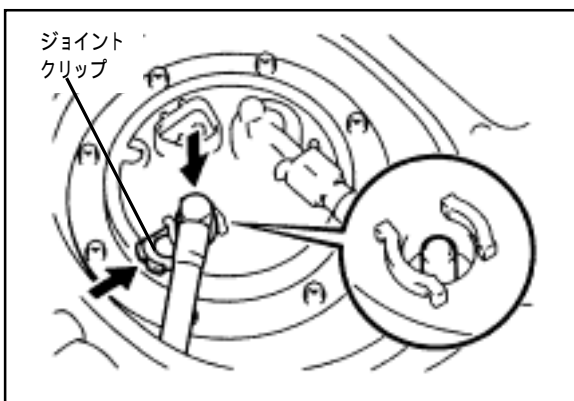
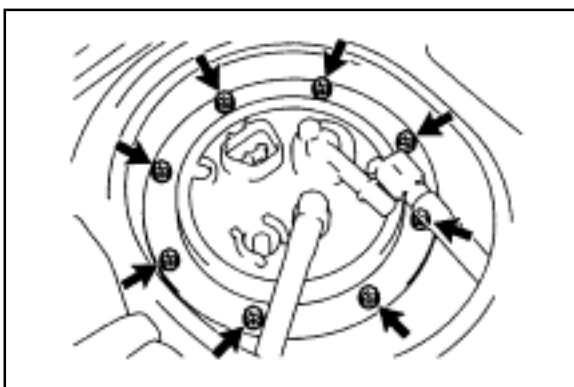
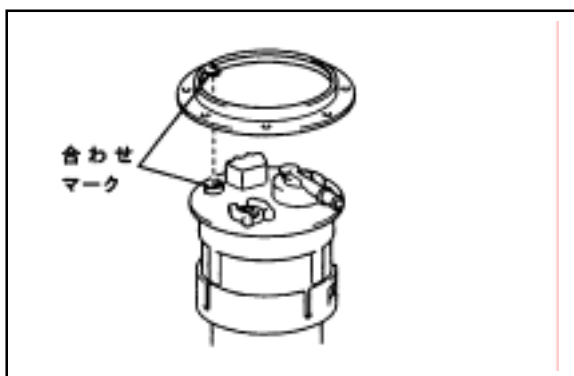
加工した部分に 26A. レギュレーターA の突起部分を合わせ、図のように取り付ける。

注意・加工した部分で O リングを傷つけないよう十分注意して作業してください。

- ・加工後はフューエルサクシオンチューブ ASSY W / ポンプを十分洗浄し、加工粉などを完全に取り除いてください。

- ・加工粉などがフューエルサクシオンチューブ ASSY W / ポンプ内に残っているとエンジン始動不良、エンジン不調等の原因になる場合があります。

フューエルサクシオンプレートを、元通り取り付ける。



取り外しと逆の手順でフューエルサクシオンチューブ ASSY W / ポンプを取り付ける。

フューエルタンクベントチューブセットプレート元通り取り付け。

フューエルエバポレーションチューブ No2 元通り取り付け。

フューエルポンプチューブ元通り取り付け。

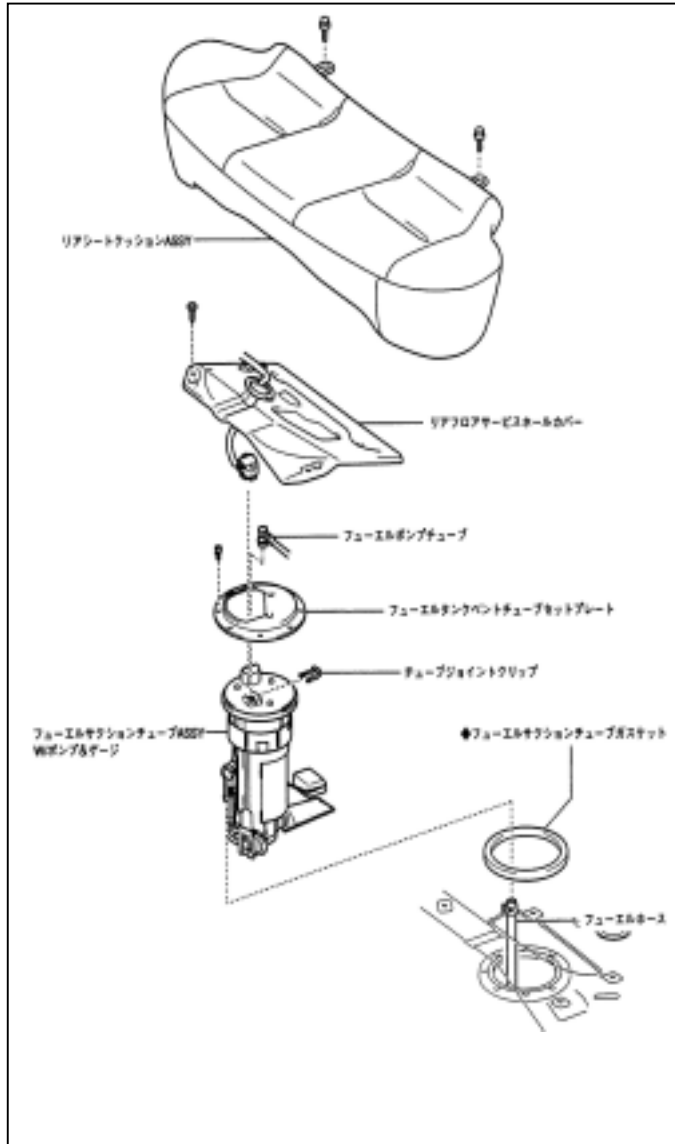
ジョイントクリップはロックが掛かるまでしっかりとめ込んでください。ジョイントクリップが外れると、燃料漏れを起こす恐れがあります。

フューエルポンプコネクタを、元通り取り付け。

リアフロアサービスホールカバー元通り取り付け。

リアシートを元に戻す。

・(4WD 車) (図は、NCP 65 です。)



分割可倒式 ヘッドレストを取り外し、後部座席を前方に倒す。

一体可倒式 リアシートクッションASSYを取り外す。

リアフロアサービスホールカバーを取り外す。

フューエルポンプコネクタを外す。

フューエルポンプチューブ取り外し

(a) 作業前にクリップ部に付着した泥などの異物を清掃する。

(b) ジョイントクリップを取り外し、上方へ引き上げフューエルポンプチューブを取り外す。

注意

・クイックコネクターはOリングによりナイロンチューブとサクシヨンプレートのプラグ部をシールしているため、接着部の傷つき、異物の付着に対し十分注意して作業をおこなう。

・脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。

・ナイロンチューブを無理に曲げたり折ったり回転させたりしない。

・取り外し後、接続部をビニール袋で保護する。

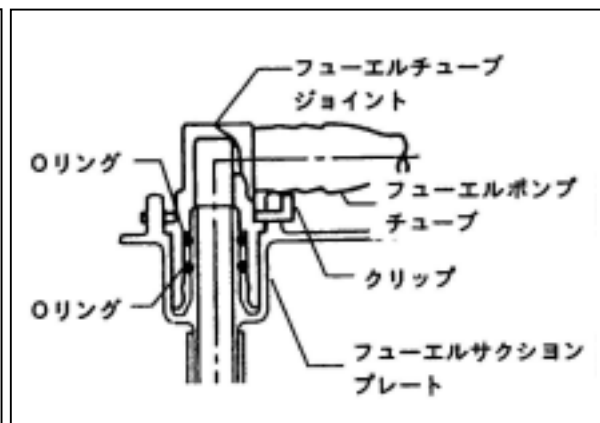
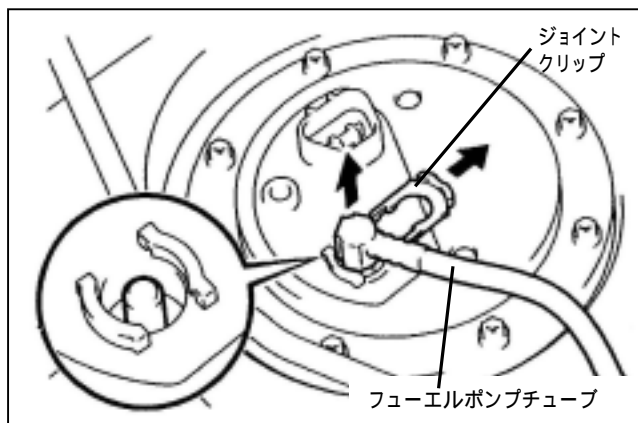
ボルト8本をはずし、フューエルタンクベントチューブセットプレートを取り外す。

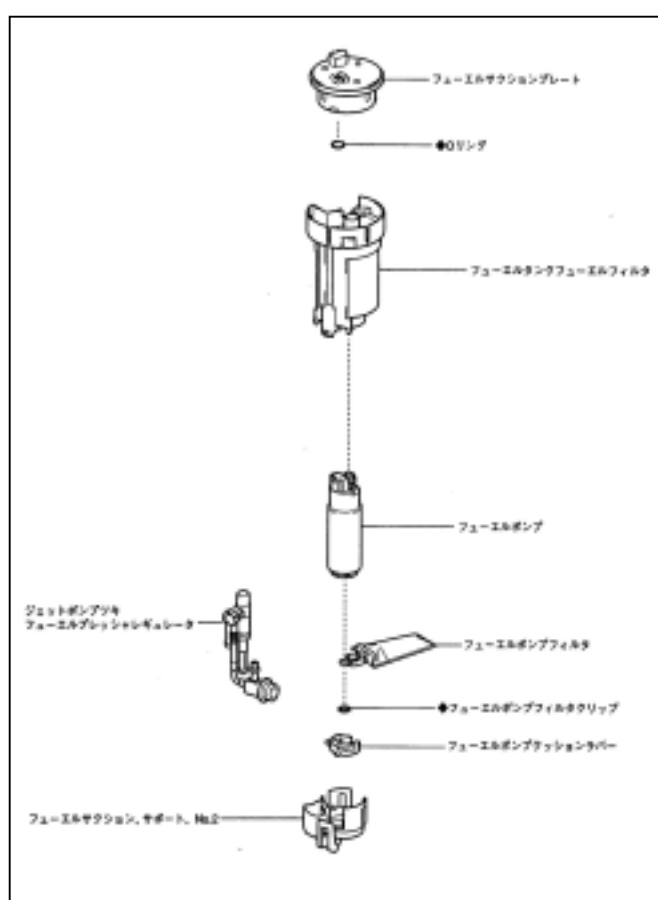
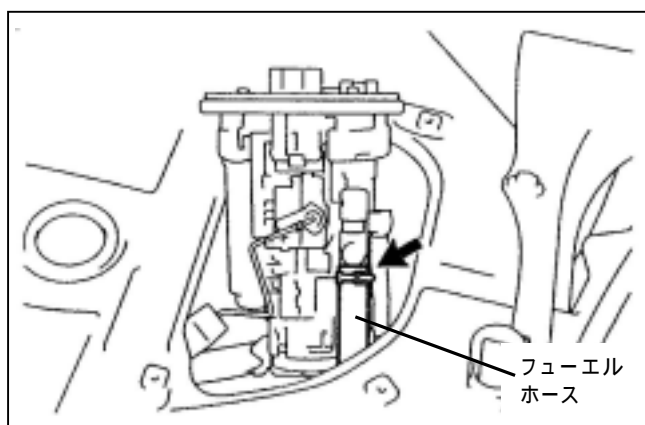
フューエルホースを外し、フューエルサクションチューブASSY W/ポンプ&ゲージおよびガasketを取り外す。

注意

・フューエルポンプフィルターを傷つけない。

・セnderゲージアームを曲げないように気をつける。





フューエルサクションプレート取り外し

(a) マイナスドライバーを使用して、フューエルサクションプレートのツメのかん合を外す。

(b) フューエルポンプハーネスを外し、フューエルサクションプレートを取り外す。

フューエルサクションプレート No. 2 を取り外す。

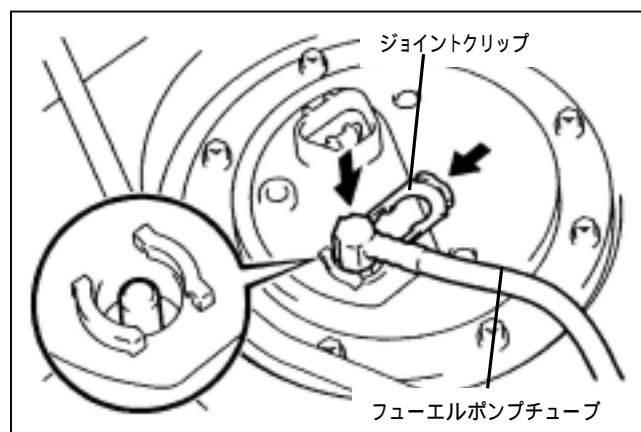
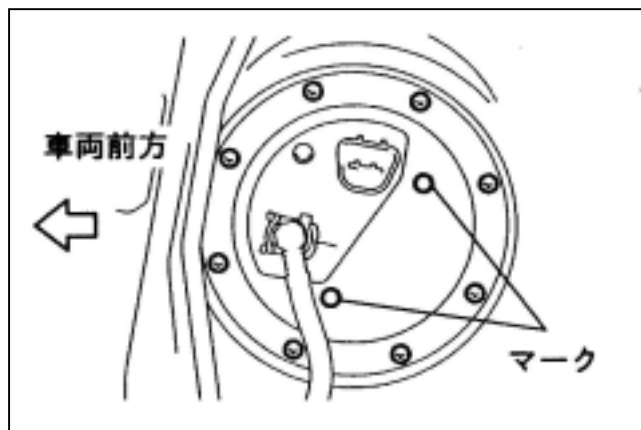
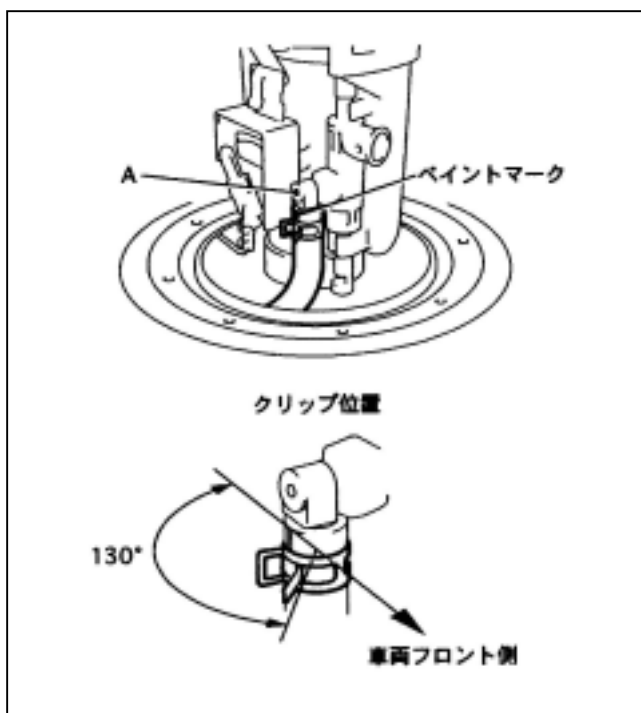
フューエルポンプクッションラバーを取り外す。

ジェットポンプレギュレーター ASSY を取り外す。

26B . レギュレーター B に付け替える。

フューエルポンプクッションラバーおよびフューエルサクションサポート No. 2 を元通り取り付け。

フューエルポンプハーネスおよびフューエルサクションプレートを元通り取り付け。



フューエルサクションチューブASSY W / ポンプ&ゲージ取り付け

- (a) 図のA部にフューエルホースのペイントマークを合わせるように接続し、クリップのツマミ部が、図の範囲内に入るようにセットする。
- (b) フューエルサクションチューブASSY W / ポンプ&ゲージとガスケットを取り付ける。

注意

センダーゲージアームがフューエルタンク内のフューエルホース等に干渉しないよう注意して取り付ける。干渉があると、フューエルメーターが正常に作動しくなくなります。

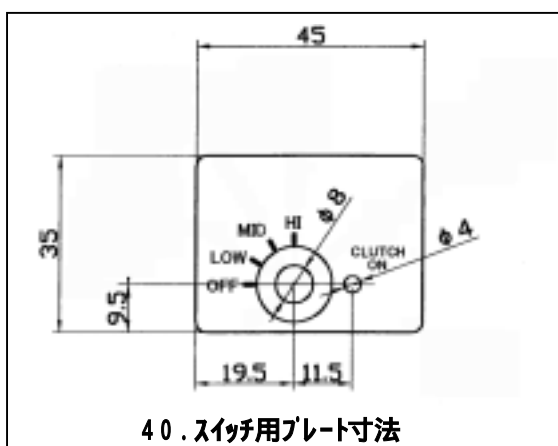
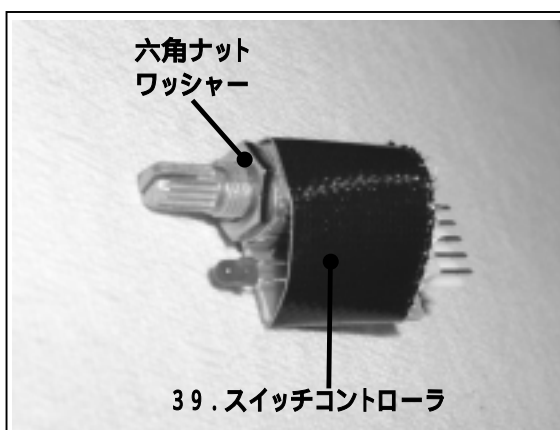
フューエルサクションチューブASSY W / ポンプ&ゲージおよびフューエルタンクベントチューブセットプレートのマークを合わせ、ボルト8本で取り付け。

トルク: $T = 4.0 \text{ N} \cdot \text{m} (41 \text{ kgf} \cdot \text{cm})$

フューエルポンプチューブをプラグに差し込みチューブジョイントクリップを取り付ける。

注意

- ・接続部に傷および異物の付着がないことを確認する。
 - ・チューブジョイントクリップが確実に取り付けられている事を確認する。
 - ・チューブジョイントクリップがコネクタのツバの上にあることを確認する。
 - ・チューブジョイントクリップ取り付け後、フューエルポンプチューブASSYが抜けないことを確認する。
- フューエルポンプコネクタおよびリアフロアサービスホールカバーを元通り取り付け。
- リアシートクッションを元通り取り付け。



(38) 39. スイッチコントローラおよび40. スイッチ用プレート取り付け

39. スイッチコントローラの調節ツマミ部の六角ナットおよびワッシャーを取り外す。

39. スイッチコントローラを取り付ける場所に、穴開け加工する。

穴寸法は、図をご参照ください。なお、取り付け部分の厚み等により、若干の寸法の調整が必要です。

開けた穴に、39. スイッチコントローラの調節ツマミ部と、赤色 LED を通し、表面保護シートおよび裏面剥離紙を剥がした40. スイッチ用プレートを上から被せ、六角ナット・ワッシャーで固定する。

スイッチ用プレートを、貼り付け、固定する。

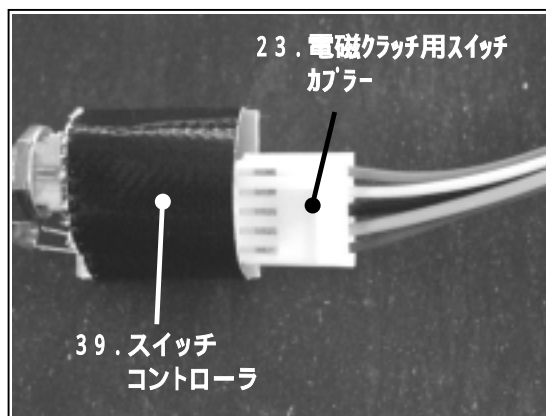
39. スイッチコントローラのツマミ取り付け部を反時計回りに止まるまで回し、調節ツマミのマークが OFF に合うように取り付け。

調節ツマミを回し、プレート表記位置とツマミマークが合っていることを確認してください。

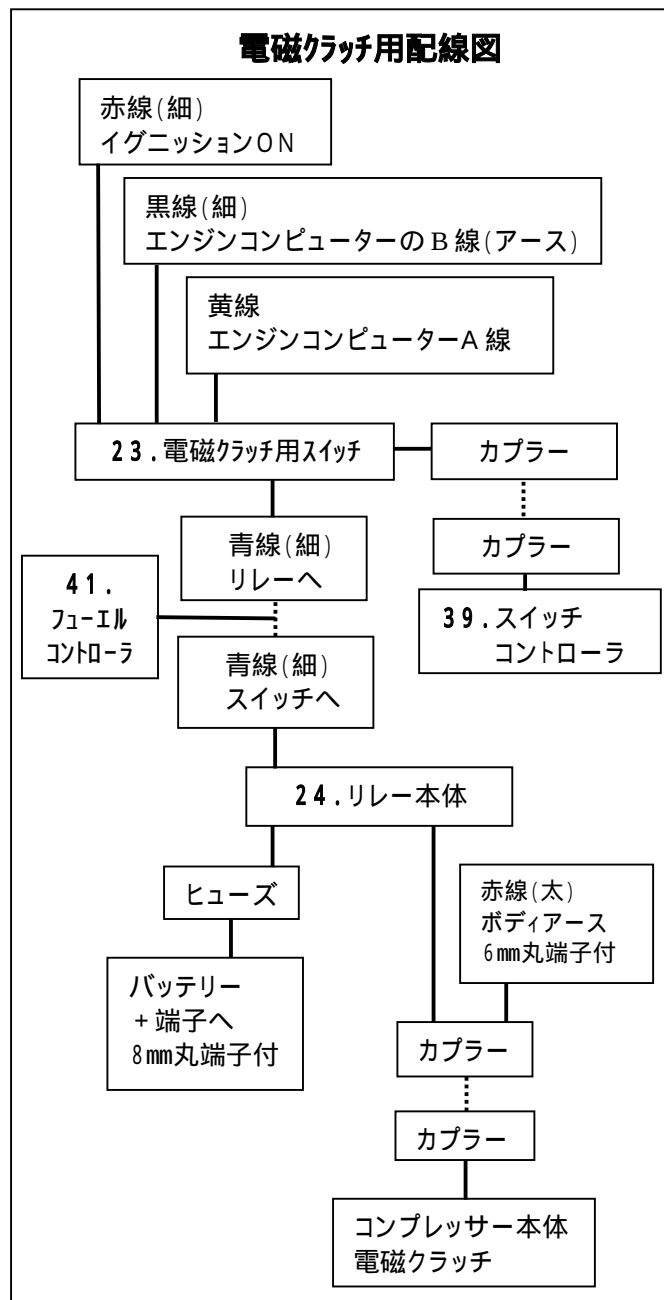
39. スイッチコントローラのカプラーと、23. 電磁クラッチ用スイッチのカプラーを接続する。

スイッチ類本体および配線類を、30. タイラップL、31. タイラップSを使用して、固定する。

高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。



(39) 23. 電磁クラッチ用スイッチ、24. リレーハーネスの取り付け



助手席側グローブボックス下側のエンジンコントロールコンピューターカバーを取り外す。

24. リレーハーネスのカブラーを1. コンプレッサー本体から出ているハーネスカブラーに接続する。

フランジボルトを使用して、24. リレーハーネスのリレー本体を、適当な位置に固定する。

プーリー・Vベルト等の可動部や高熱部に干渉しない場所に固定してください。

24. リレーハーネスのカブラーから出ている赤線(6mm丸端子)を、ボディアース位置に取り付ける。

リレー本体から出ている赤線(8mm丸端子)をバッテリープラス端子に接続する。

リレー本体から出ている青線を、助手席側の室内に引き込む。

ハーネスを34. φ7コルゲートチューブで被覆し、プーリー・Vベルト等の可動部や高熱部に干渉しないよう、31. タイラップSで固定してください。

バッテリーに接続する線と、ボディアースする線を、間違えないように注意してください。

23. 電磁クラッチ用スイッチの黄線を、次ページからの ECU 配線図の A 線に 37. エレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。

23. 電磁クラッチ用スイッチの黒線(細)を、次ページからの ECU 配線図の B 線(アース)に、37. エレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。

23. 電磁クラッチ用スイッチの赤線(細)を、イグニッション ON 電源線に、37. エレクトロタップ(1ヶ)を使用して接続する。

赤線(細)は、適当な長さに切って使用してください。

38. ギボシ・スリーブセット(1ヶ)を使用して、23. 電磁クラッチ用スイッチの青線を、 で室内に引き込んだ 24. リレーハーネスの青線と接続する。

ECU 配列は車型・年式により異なります。ご注意ください。

(40) 41. フューエルコントローラ取り付け

次ページからの ECU 配線図に従って、41. フューエルコントローラ配線と純正 ECU 配線および 23. 電磁クラッチ用スイッチの青線を、37. エレクトロタップ(8ヶ)を使用して、接続します。

全て、又取りです。

配線の断線・接続不良には、十分注意して、作業してください。最悪の場合、エンジン破損の原因となります。

41. フューエルコントローラを純正コンピューターの上側に貼り付ける。

(39)(40)の配線類を、31. タイラップ S を使用して、固定する。

高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。

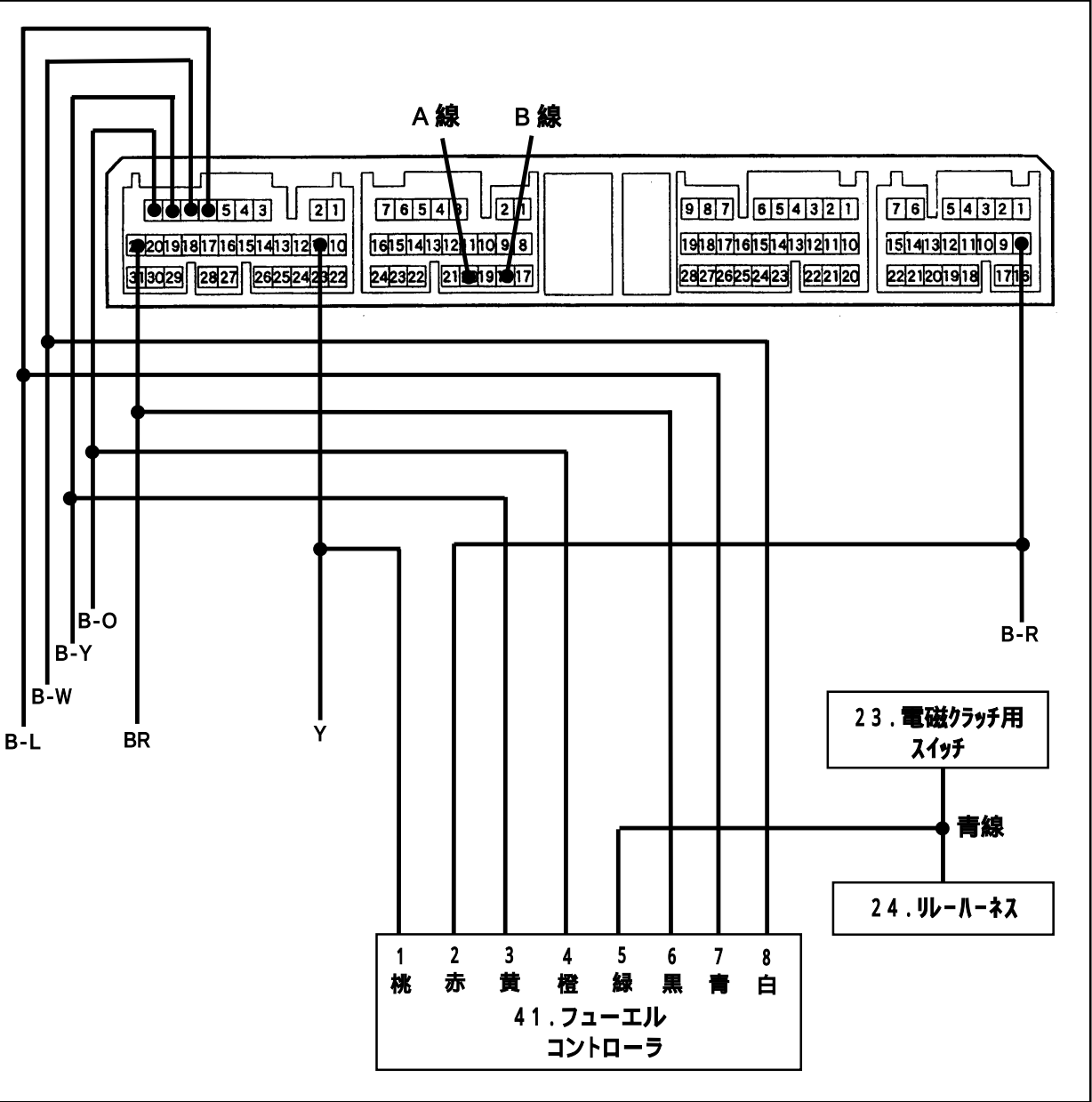
エンジンコントロールコンピューターカバーを元のように取り付ける。

ECU 配列は車型・年式により異なります。ご注意ください。

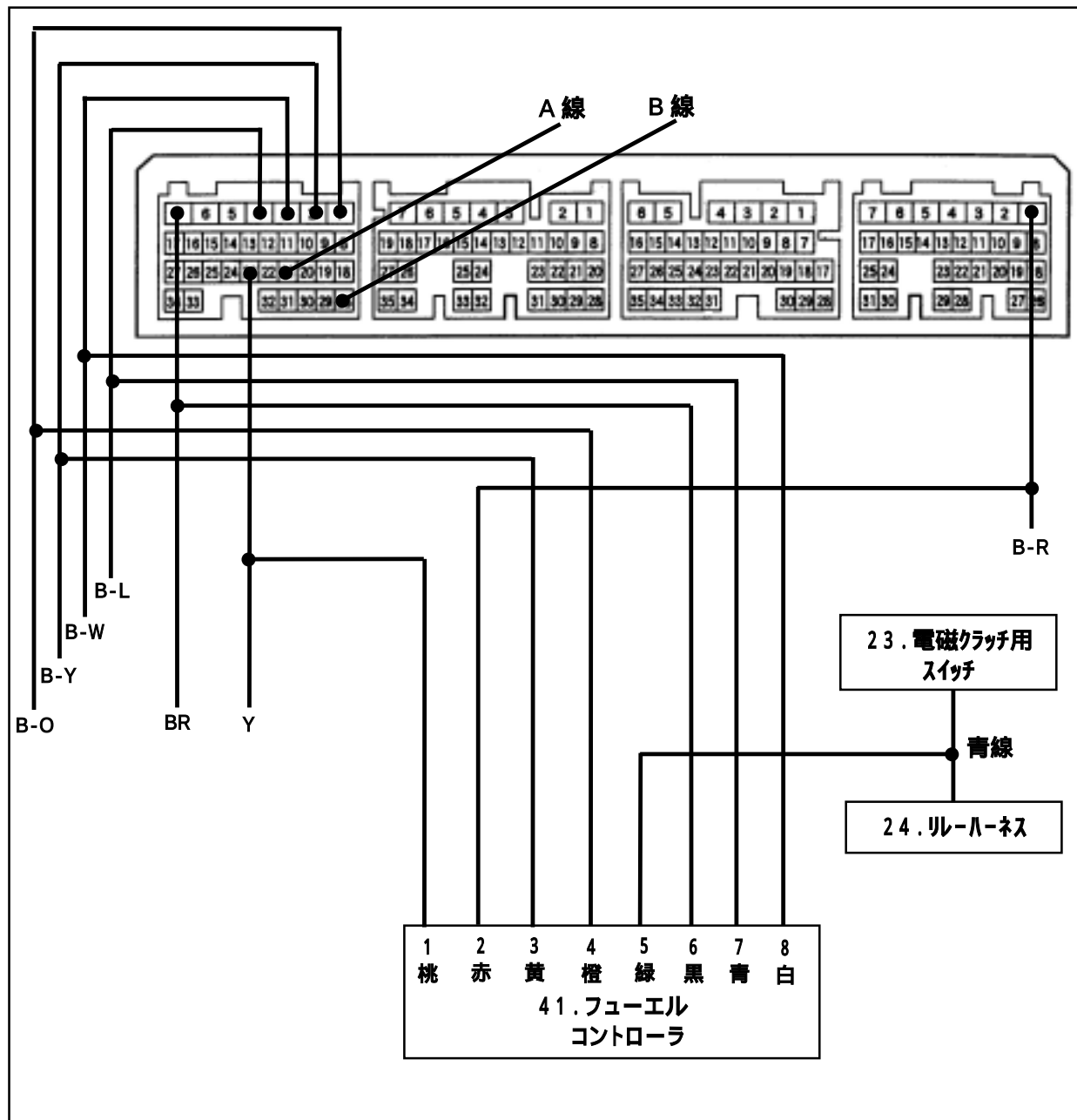
1 桃	2 赤	3 黄	4 橙
5 緑	6 黒	7 青	8 白

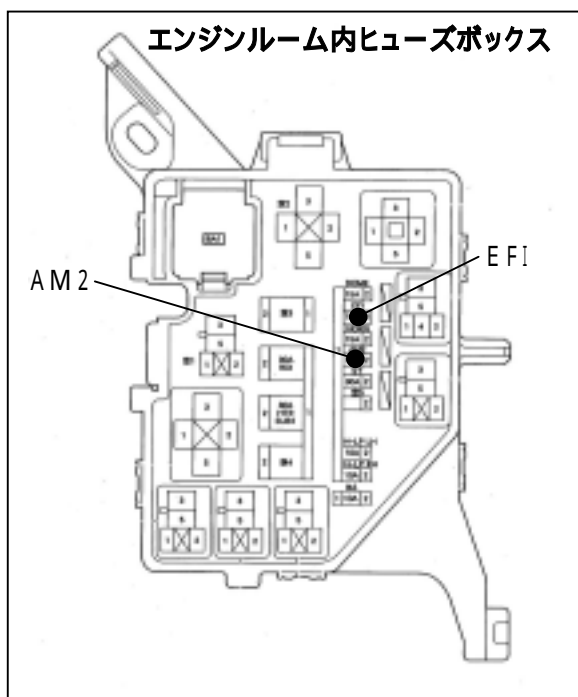
32

ECU 配線図 (NCP21、NCP25(ステアマチック車)) (~ 2002年8月)

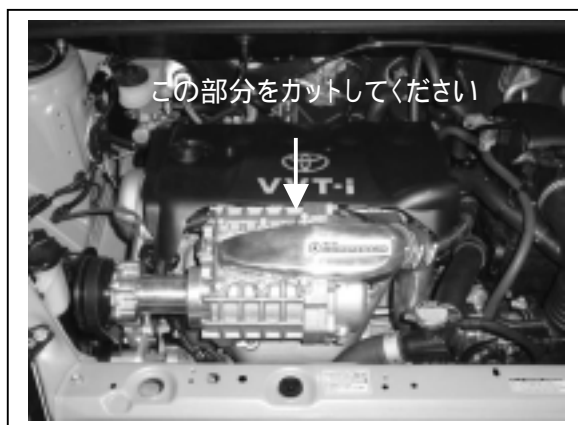


ECU 配線図(NCP61、 NCP65、 NCP51V/58G および、 2002年8月～の全車)





- (41) エンジンルームヒューズボックス内のAM2(15A)ヒューズを、33.ヒューズ(20A)に付け替える。
- (42) フューエルタンクキャップを元通り閉める。
- (43) バッテリーのマイナス端子を取り付ける。
- (44) エンジンルームヒューズボックス内のEFIヒューズ(15A)を取り外し、15秒以上経過後ヒューズを接続する。



- (45) 純正エンジンカバーを取り付ける場合は、図のようにキット部品に干渉する部分を切り取って、取り付ける。
- (46) イグニッションキーをONにし、アクセルペダルを踏み込み、途中でコンプレッサープーリーのクラッチがONになる事を確認する。
エンジンを始動しなくてもクラッチはONになります。
- (47) エンジンを始動し、アイドリング状態で5～10分間放置する。

以上で、本キットの取り付けは終了です

〔7〕取り付け後の確認

■ エンジン始動前の確認

- ・ パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認してください。
- ・ ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認してください。
- ・ ガソリンはハイオクガソリンが入っているか確認してください。

■ エンジン始動後の確認

- ・ コンプレッサーから異音等がないか確認してください。
- ・ 軽く空ぶかしをおこない、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認してください。(ベルトのスリップ、歯とび)
- ・ 冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認してください。

〔8〕メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。
尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については必ず実施してください。

■ コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・ エンジンオイルの定期的な交換(推奨 5000Km以内で交換)
- ・ エンジンオイルフィルターの定期的な交換(推奨 10000Km以内で交換)
- ・ ハイオクガソリンの使用(レギュラーガソリンは絶対に使用しないでください)
キットには専用ハイオクステッカーを付属しています。給油口内側に貼り付ける事をお勧めします。

■ Vベルトのメンテナンスについて

本コンプレッサーキットでは、Vベルトを利用しコンプレッサーを回転させ、過給を発生させています。定期的にVベルトの点検・張りの調整を行ってください。

- ・ Vベルトの点検・張りの調整 推奨5000kmで点検・調整
Vベルトは、新品初期に一番伸びる特徴があります。新品Vベルトを取り付けた際は500km以内で、張りを調整して下さい。
- ・ Vベルトの交換 Vベルトの交換サイクルは車両の状態・運転の状況により異なります。Vベルトにヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合には交換をお勧めします。
Vベルトの点検・張りの調整を行わない場合、Vベルトがスリップしてしまう事があります。Vベルトがスリップしている状態ではコンプレッサー本来の性能を発揮できない場合があります。

〔9〕推奨パーツ

- ・ プラグ BLITZ Iridium Spec 77 T7340B - 6 コードNo.14436
- ・ プラグ BLITZ Iridium Spec 77 T7340B - 7 コードNo.14437
- ・ Vベルト(4PK1715) コードNo.10124 - 004
- ・ Vベルト(4PK1710) コードNo.10125 - 002
- ・ Vベルト(4PK1695) コードNo.10156 - 001

〔10〕オイル交換およびオイル量点検時のご注意

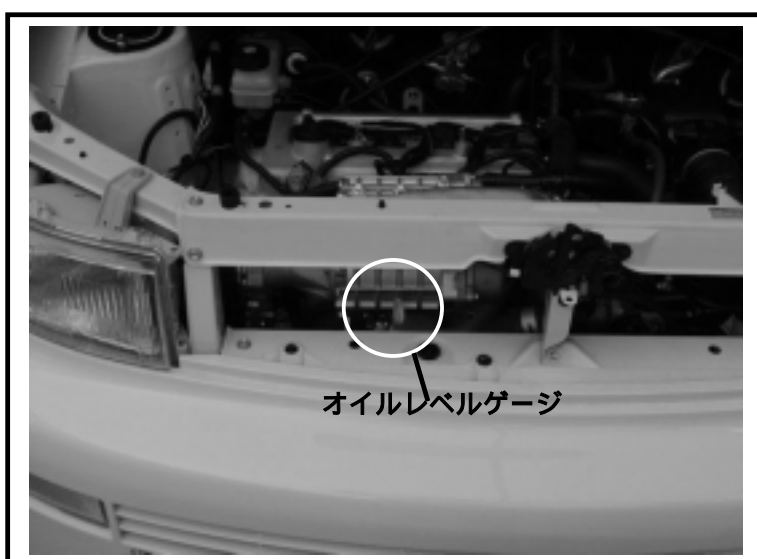
本キットをTOYOTA bBに装着された場合には、エンジンオイルの交換及びオイル量の点検の際にラジエーターグリルの取り外しが必要になります。

ラジエーターグリル取り外し方法



クリップ3ヶを取り外しラジエーターグリルを取り外してください。

オイルレベルゲージ取り外し方法



図の位置にオイルレベルゲージがありますので、エンジンオイル量の点検を行ってください。

●製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛てにお願いします。

■連絡先 (株)ブリッツ

■TEL 0566-79-2200

■住所 愛知県安城市高棚町大道40-1 ■FAX 0566-79-2070

製造・発売元

株式会社 ブリッツ

取扱説明書番号

10147004

初版作製年月日

2004.5.1

BL⚡TZ